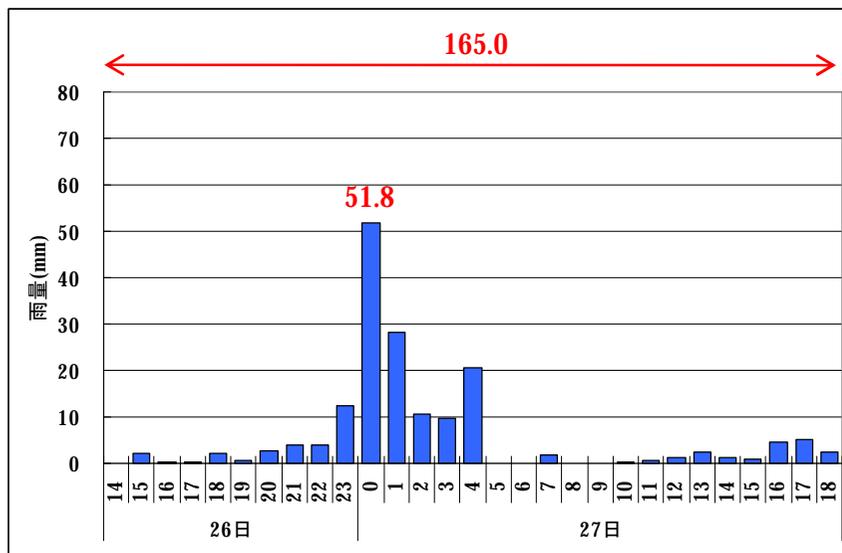

淀川水系寝屋川流域の 当面の治水目標について

1. 第1回治水専門部会の確認
2. 当面の治水目標の設定条件
 - 1) 現況での危険度の確認
 - 2) 中間目標降雨の降雨波形の設定

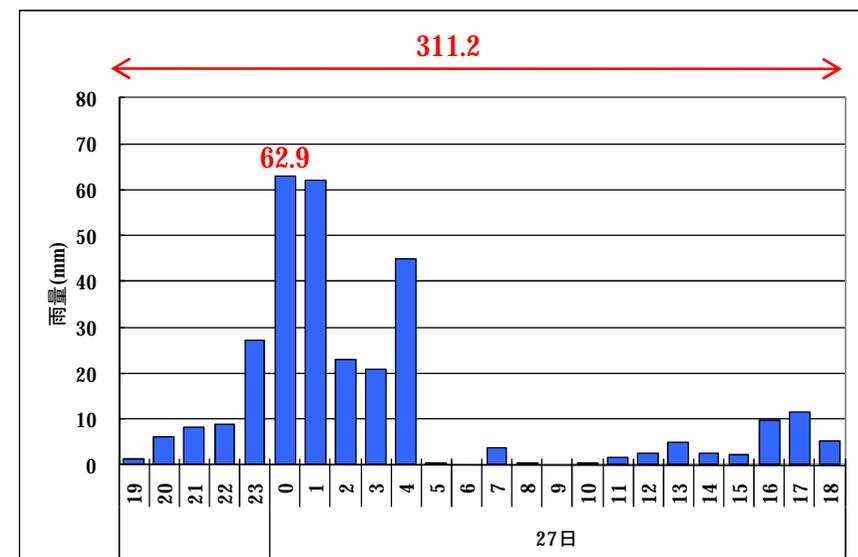
1. 第1回治水専門部会の確認

- 1) 初期目標降雨(1/10確率降雨)は、八尾実績Ⅲ型引き縮め(1/10)を採用する。
- 2) 最終目標降雨は、八尾実績降雨とする。
- 3) 中間目標降雨について、整理する。

初期目標降雨(1/10確率降雨)



最終目標降雨(八尾実績降雨)



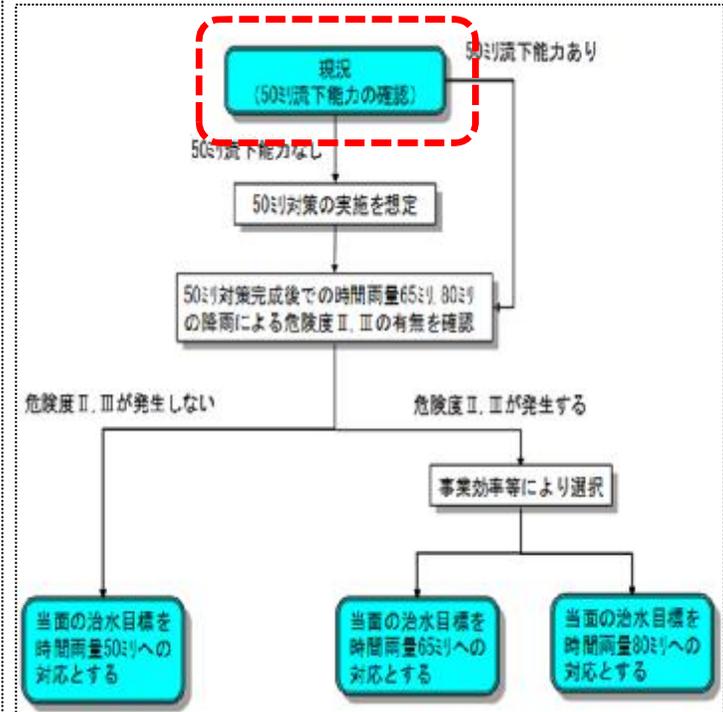
2. 当面の治水目標の設定

1) 現況での危険度の確認

- 当面の治水目標の設定フローに基づき、現況での危険度（想定被害）を氾濫解析により確認する。
- 氾濫解析実施にあたっての現況治水施設の条件は、以下のとおり。

■ 氾濫解析実施にあたっての現況治水施設の条件

- 河川改修
 - ・全河川延長125.3kmのうち117.0km改修済み。（進捗率93%）
- 治水緑地・遊水池
 - ・寝屋川治水緑地、打上川治水緑地、花園多目的遊水地…完成
 - ・恩智川治水緑地…貯留容量165万m³のうち107万m³完成（進捗率64%）
 - ・法善寺多目的遊水地…未整備
- 地下河川
 - ・北部地下河川…計画延長11.2kmのうち6.6km完成
 - ・南部地下河川…計画延長13.4kmのうち11.2km完成
- 流域調節池
 - ・計画貯留量180万m³のうち57.3万m³完成
- 流域対応…整備率28%
- 下水道…整備率100%（φ1000mm以上）



（参考）当面の治水目標の設定フロー

■ 現況における氾濫解析結果（浸水状況）

1/10八尾実績Ⅲ型引き縮め降雨

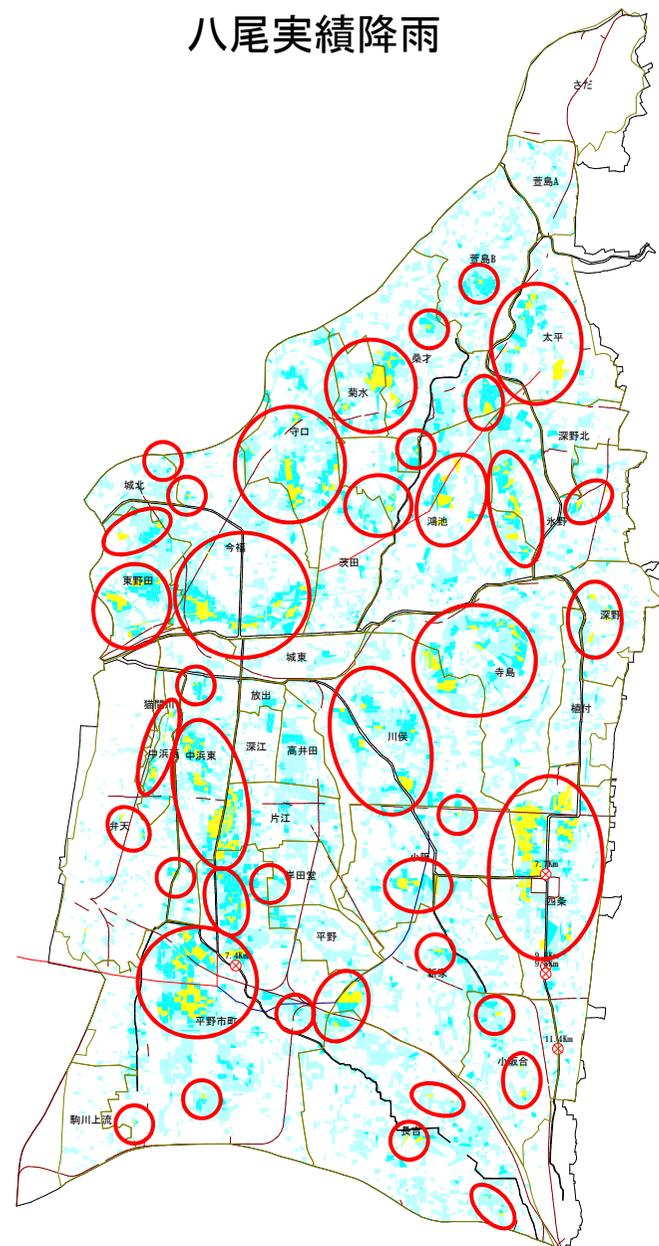
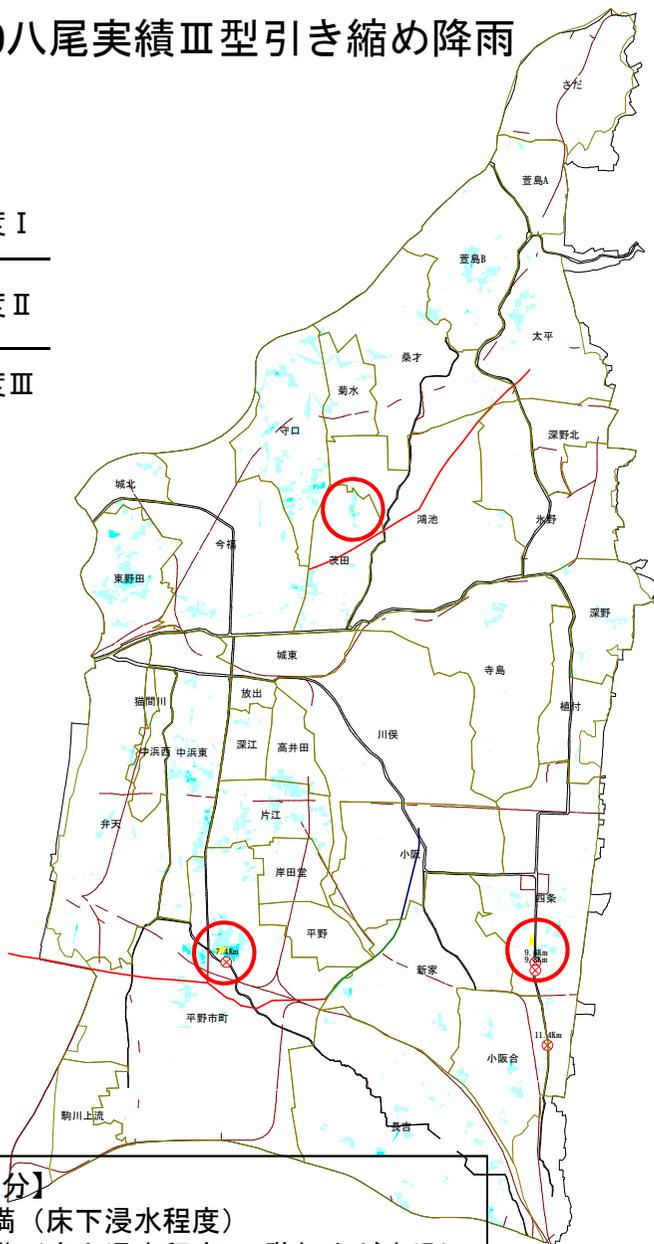
八尾実績降雨

凡 例	
0.2m未満	危険度Ⅰ
0.2m以上	
0.5m以上	危険度Ⅱ
1.0m以上	
2.0m以上	危険度Ⅲ
3.0m以上	
4.0m以上	
5.0m以上	

⊗ 破堤地点

管渠満管率	
満管	—
80%以上	—
80%未満	—

○ 危険度Ⅱ



【浸水深による危険度の区分】
 危険度Ⅰ：0.0～0.5m未満（床下浸水程度）
 危険度Ⅱ：0.5～3.0m未満（床上浸水程度～1階相当が水没）
 危険度Ⅲ：3.0m～（1階相当が水没～）

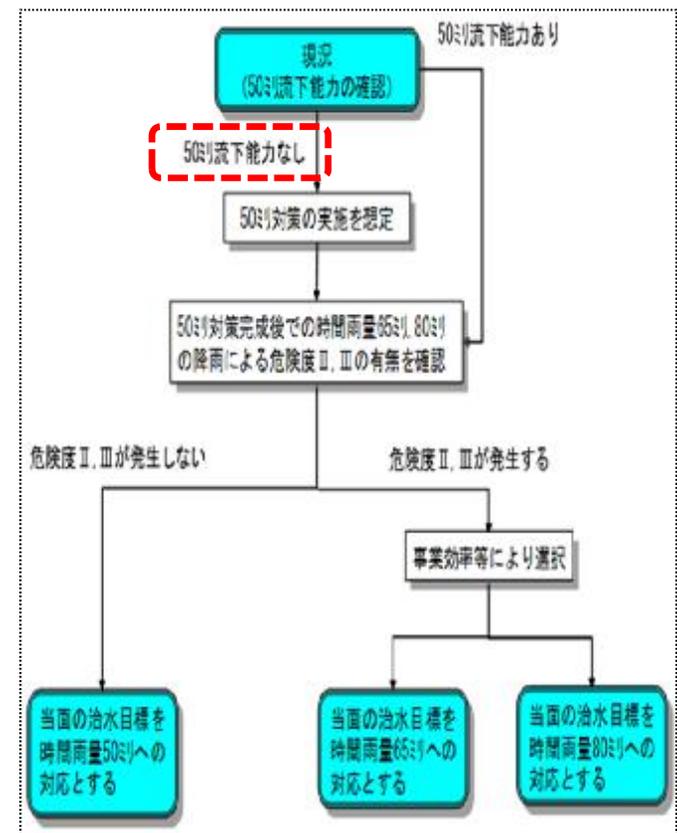
■現況での危険度の把握

○1/10確率降雨に対して、**危険度Ⅰ、Ⅱ**が発生することを確認。



○時間雨量50ミリ対策の完成を想定。

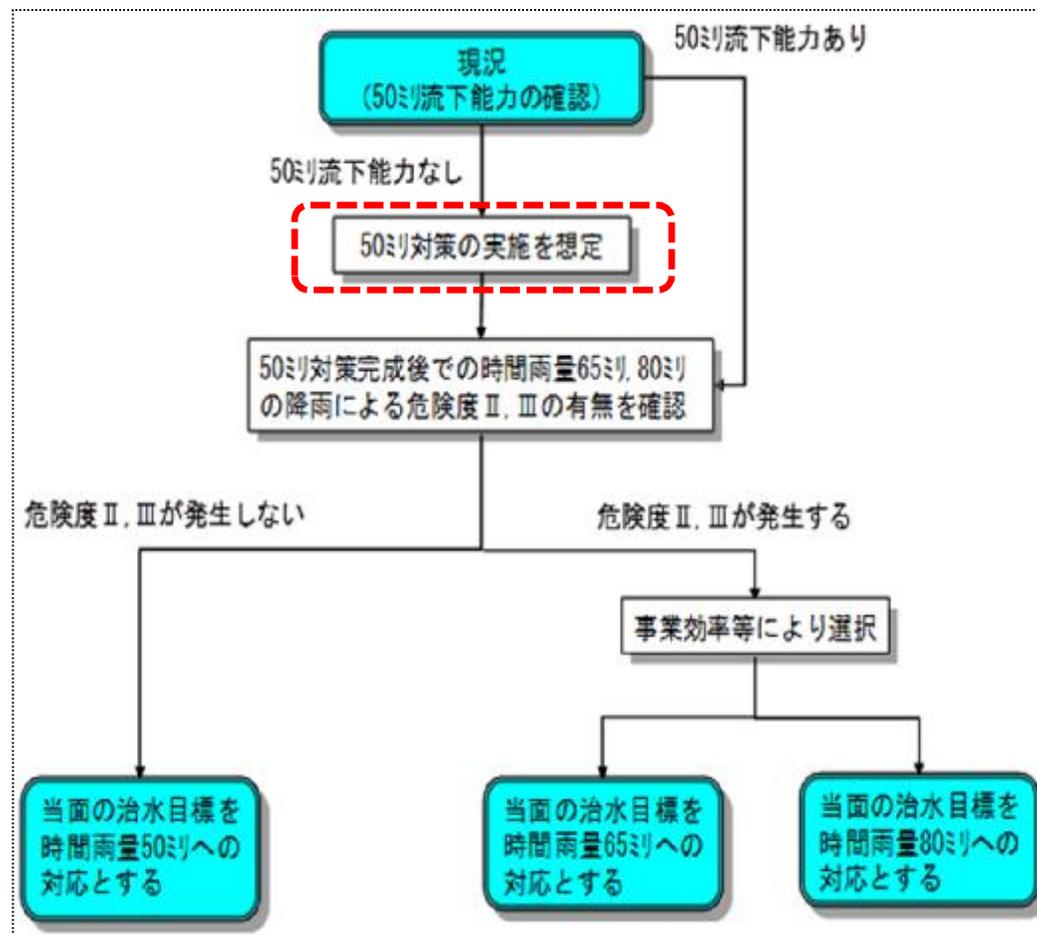
		危険度Ⅰ	危険度Ⅱ	危険度Ⅲ	
大 ↑ (発生頻度) ↓ 小	1/10	637.33ha 89,524人 120,427百万円	5.10ha 406人 2,147百万円	0.00ha 0人 0百万円	浸水面積 被害人口 被害額
	1/30	—	—	—	
	1/100	—	—	—	
	1/200	—	—	—	
			床下浸水	床上浸水 (0.5m以上)	壊滅的な被害 (浸水深3.0m以上) (家屋流出指数 2.5m ³ /s ² 以上)
		小 ←—————→ 大		(被害の程度)	



(参考) 当面の治水目標の設定フロー 5

2) 1/10確率降雨対策の実施の想定

- 当面の治水目標の設定フローに基づき、1/10確率降雨対策の完成を想定する。
- 氾濫解析実施にあたっての寝屋川流域の1/10確率降雨対策の想定は、次項のとおり。



(参考) 当面の治水目標の設定フロー

■ 1/10確率降雨対策の想定(内水対策)

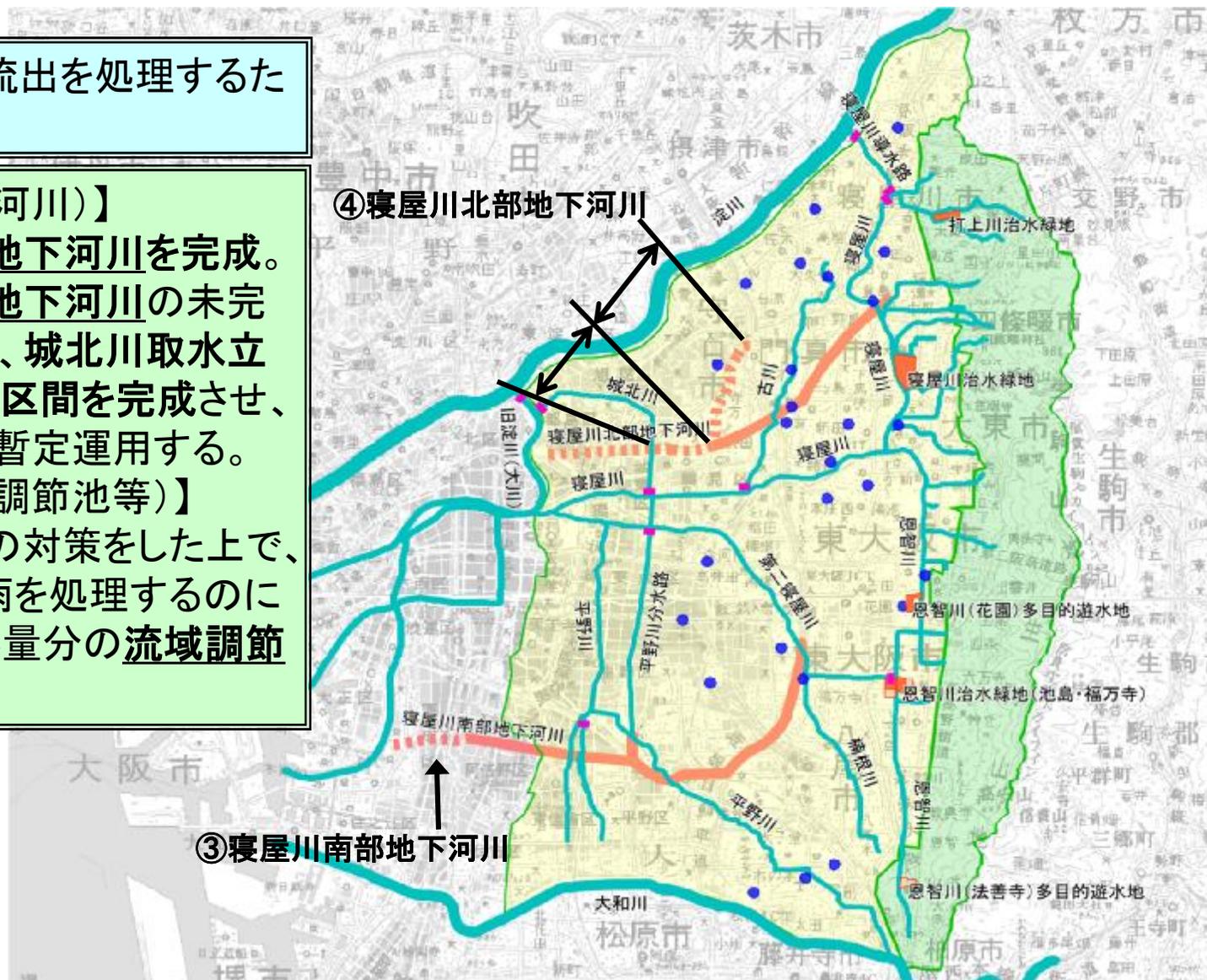
Ⅱ. 内水域からの流出を処理するための対策

【放流施設(地下河川)】

- ③寝屋川南部地下河川を完成。
- ④寝屋川北部地下河川の未完成区間のうち、城北川取水立坑より上流の区間を完成させ、調節池として暫定運用する。

【貯留施設(流域調節池等)】

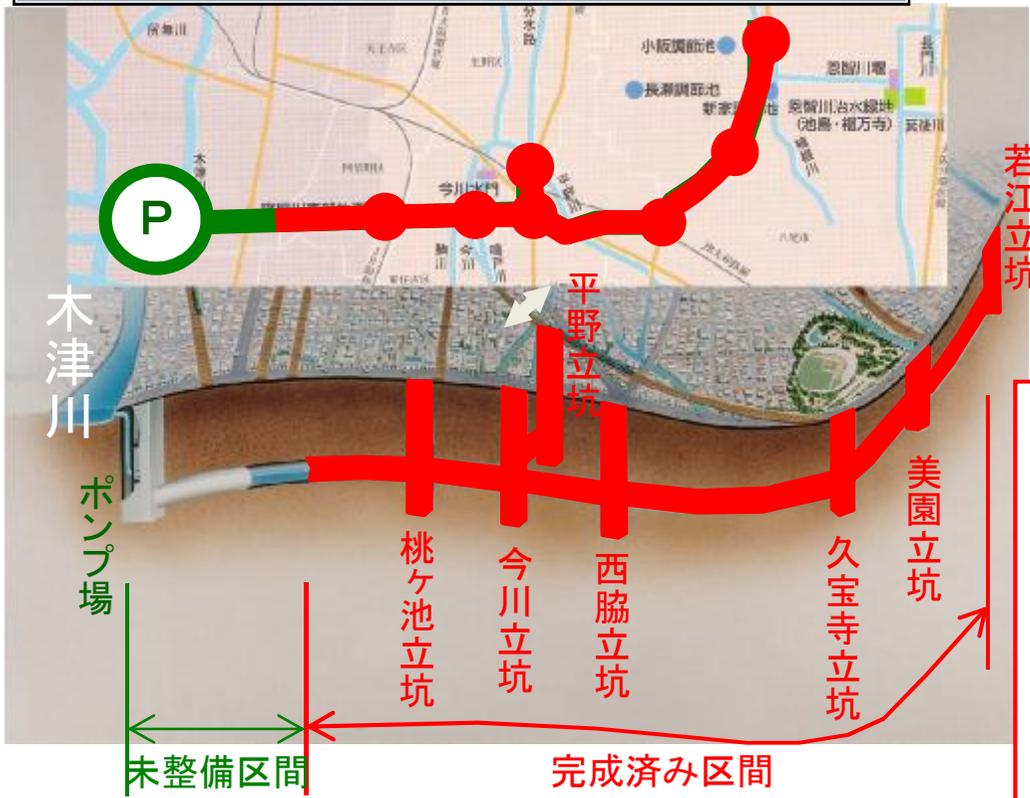
- ⑤上記①～④の対策をした上で、1/10確率降雨を処理するのに必要である容量分の流域調節池を完成。



⑤ 流域調節池は、具体的な設置箇所については未定であるが、1/10確率降雨を処理するのに必要となる集水区に、必要な容量分を設置するものとする。

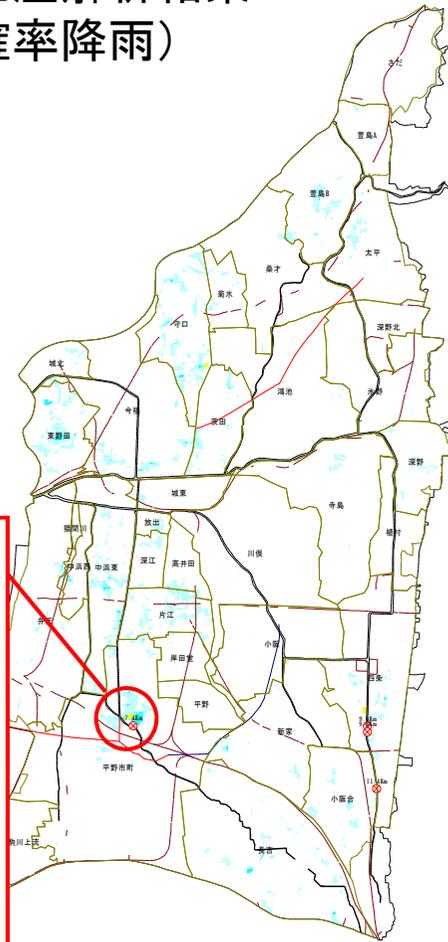
■ 1/10確率降雨対策の想定(内水対策)

寝屋川南部地下河川について



現況での氾濫解析結果 (1/10確率降雨)

凡例	
□ 0.2m未満	危険度Ⅰ
□ 0.2m以上	
□ 0.5m以上	危険度Ⅱ
□ 1.0m以上	
□ 2.0m以上	危険度Ⅲ
□ 3.0m以上	
□ 4.0m以上	
□ 5.0m以上	
⊗	破堤地点



平野市町抽水所から平野川へ放流する影響で、平野川の流量が増加し、破堤が生じている

↓

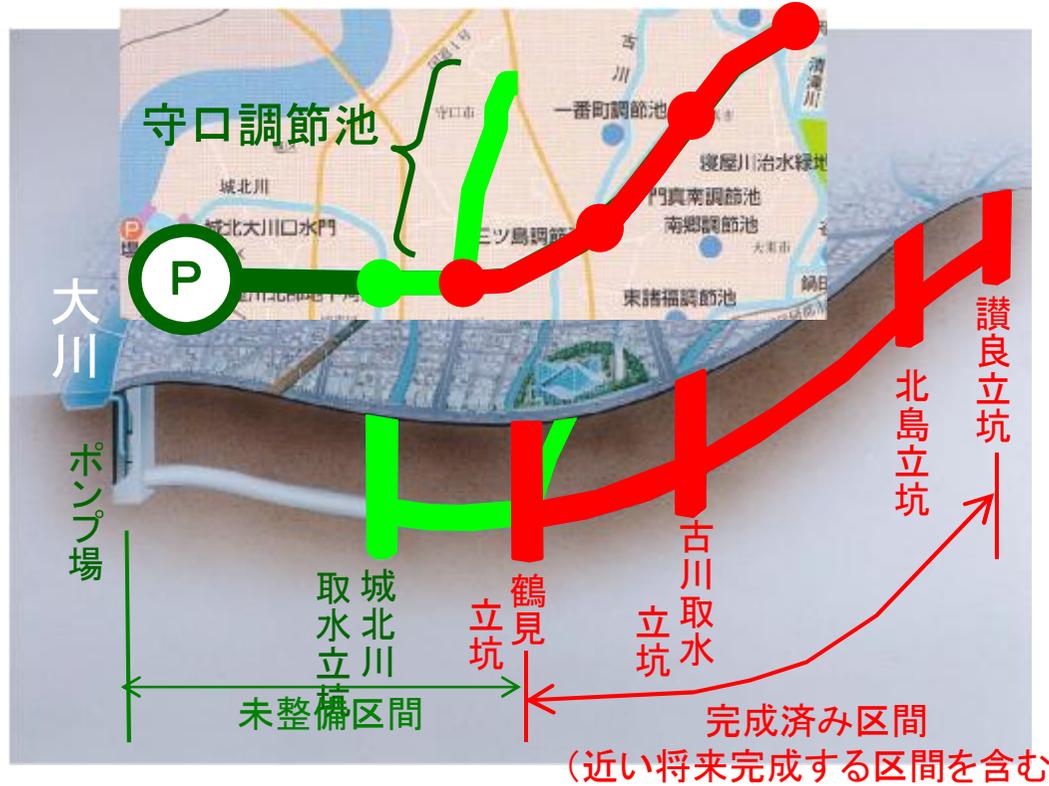
平野市町抽水所からの放流を受けるため、南部地下河川は、ポンプ場も含めて完成させることが必要。

- ・ 早期に治水効果を発揮させるため、すでに完成している区間では、大雨の時の雨水を一時的に貯留して、浸水被害を軽減している。(調節池としての暫定運用。完成済み区間の貯留容量63万m³)

平野川破堤の原因である平野市町抽水所からの放流については、計画上、寝屋川南部地下河川の役割分担であるため、地下河川の整備により対応する。

■ 1/10確率降雨対策の想定(内水対策)

寝屋川北部地下河川について



現況での氾濫解析結果 (1/10確率降雨)

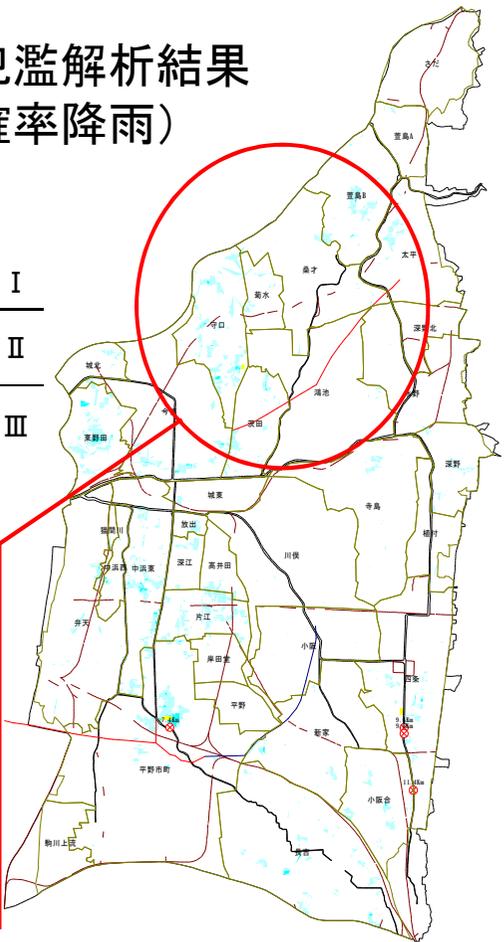
凡例

0.2m未満	危険度 I
0.2m以上	危険度 II
0.5m以上	危険度 III
1.0m以上	
2.0m以上	
3.0m以上	
4.0m以上	
5.0m以上	

危険度 I
危険度 II
危険度 III

⊗ 破堤地点

現況では、1/10確率降雨が降ったときに、北部地下河川の周辺で、約19万m³の浸水が生じる。



- ・ 早期に治水効果を発揮させるため、すでに完成している区間では、大雨の時の雨水を一時的に貯留して、浸水被害を軽減している。(調節池としての暫定運用。完成済み区間の貯留容量20万m³)

浸水範囲が広範囲に分布していることから、寝屋川北部地下河川流域の浸水については、下水道網を利活用して、効率性の高い地下河川で対応する。

■ 1/10確率降雨における氾濫解析結果（浸水状況）

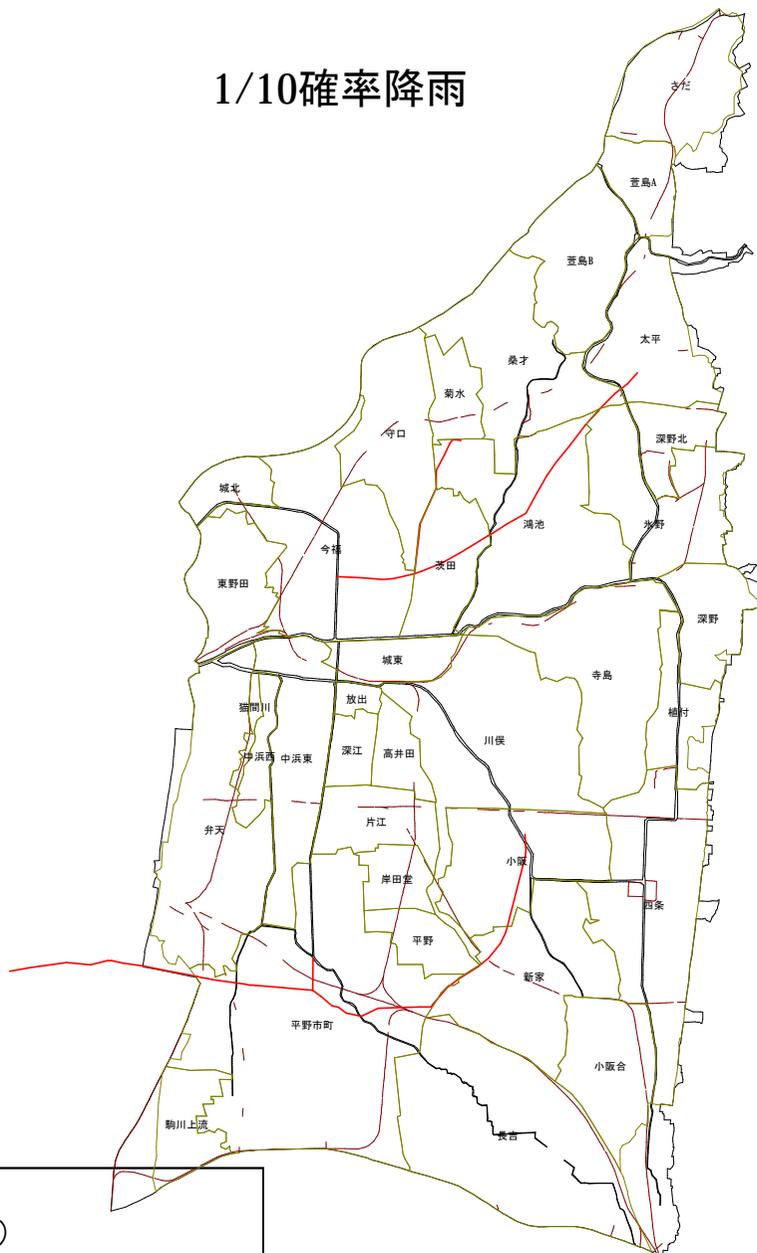
1/10確率降雨

凡 例	
0.2m未満	危険度Ⅰ
0.2m以上	
0.5m以上	危険度Ⅱ
1.0m以上	
2.0m以上	
3.0m以上	危険度Ⅲ
4.0m以上	
5.0m以上	

⊗ 破堤地点

管渠満管率	
満管	—
80%以上	—
80%未満	—

○ 危険度Ⅱ



【浸水深による危険度の区分】
 危険度Ⅰ：0.0～0.5m未満（床下浸水程度）
 危険度Ⅱ：0.5～3.0m未満（床上浸水程度～1階相当が水没）
 危険度Ⅲ：3.0m～（1階相当が水没～）

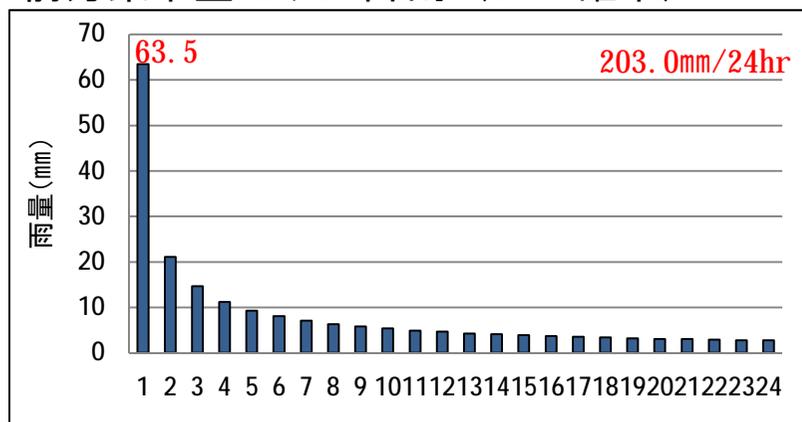
2) 中間目標降雨の設定

■ 時間分布の違いによる検証

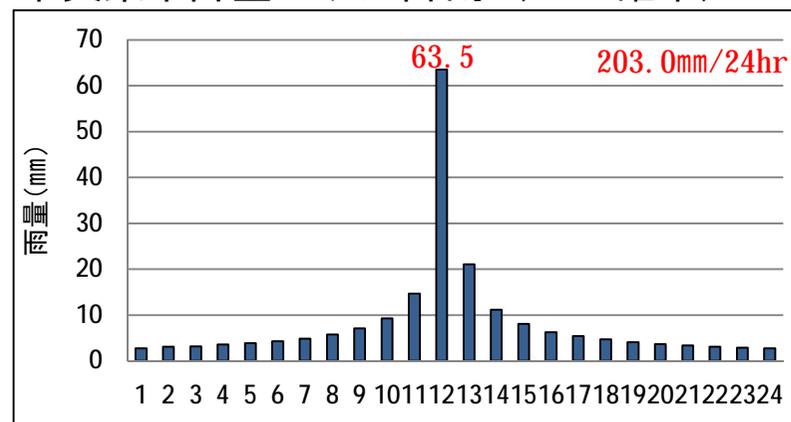
○ 時間分布の違いによる浸水面積、浸水量、B-C、治水施設の整備の差を検証する。

● 検証に用いる降雨

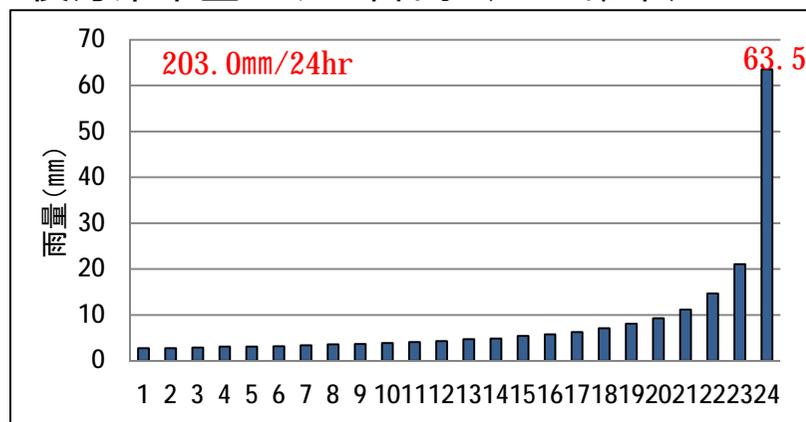
前方集中型モデル降雨 (1/30確率)



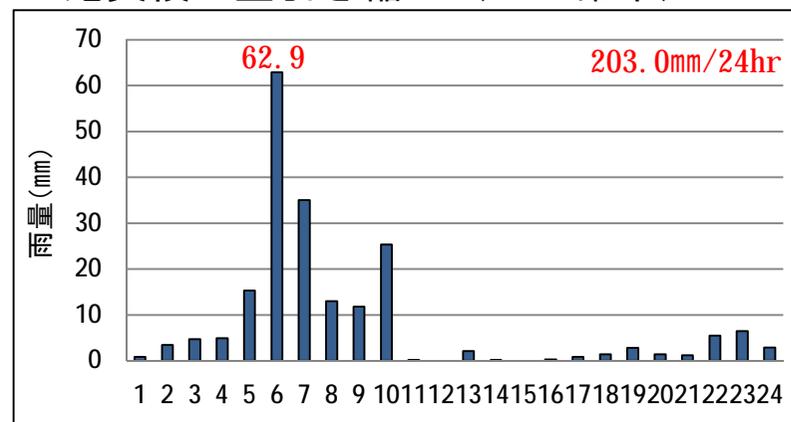
中央集中降型モデル降雨 (1/30確率)



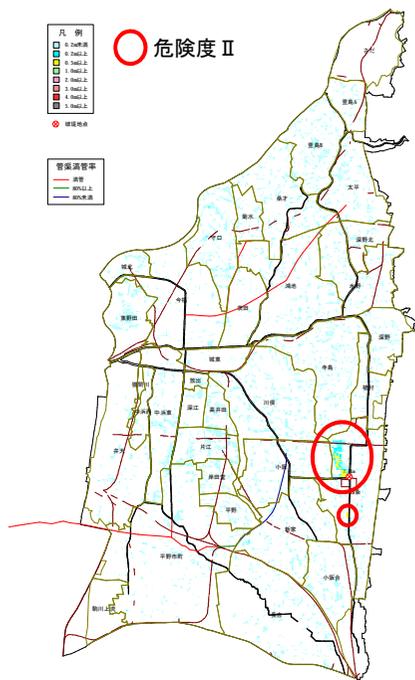
後方集中型モデル降雨 (1/30確率)



八尾実績Ⅲ型引き縮め (1/30確率)



■ 1/10確率降雨対策を想定した後の氾濫解析結果



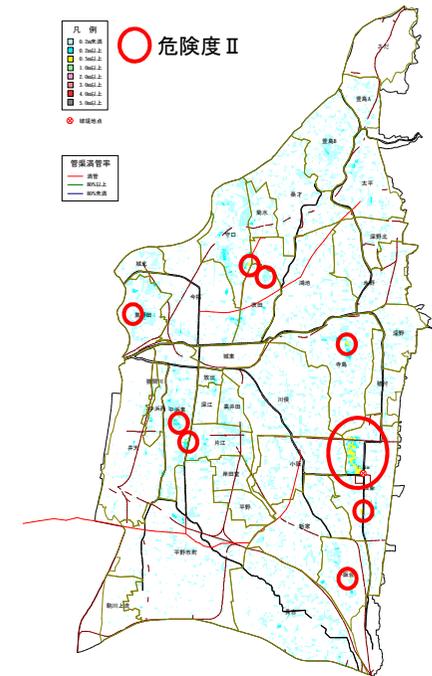
前方集中型モデル降雨
(1/30確率)



中央集中型モデル降雨
(1/30確率)



後方集中型モデル降雨
(1/30確率)



八尾実績Ⅲ型引き締め降雨
(1/30確率)

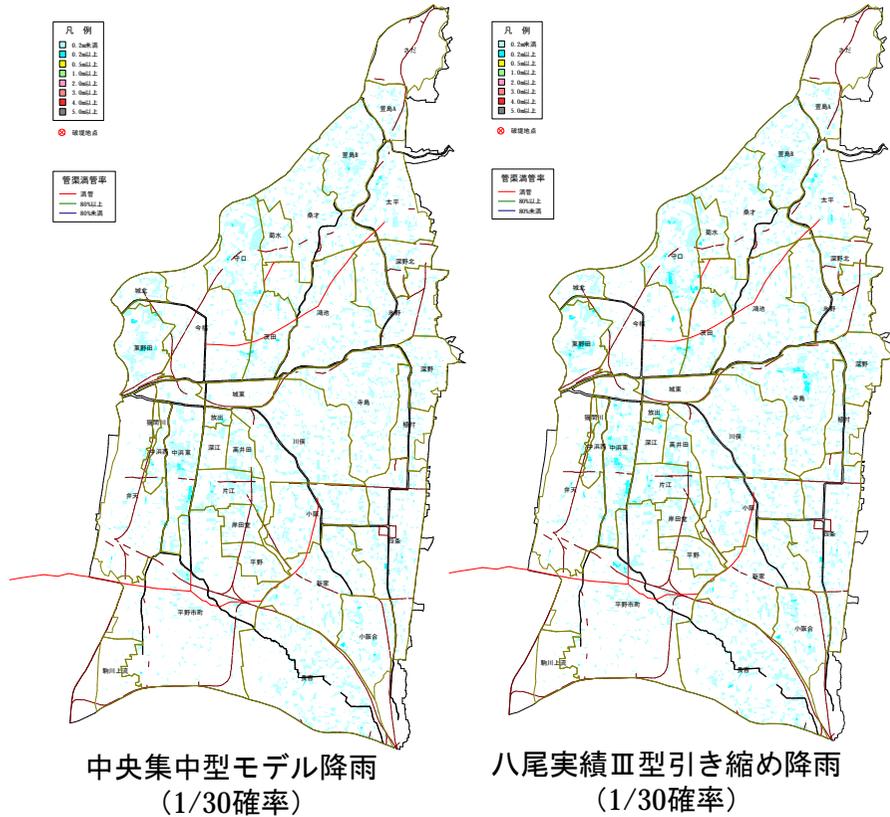
	前方集中型モデル	中央集中型モデル	後方集中型モデル	八尾実績Ⅲ型引き締め
浸水面積 (ha)	1,931	2,765	2,839	3,004
床上浸水面積 (ha)	16	18	13	35
床下浸水面積 (ha)	1,915	2,747	2,826	2,969
浸水量 (m ³)	866,294	1,435,194	1,394,632	1,952,610

■降雨波形の設定

●1/30確率降雨対応に向けた対策の想定

	中央集中型モデル降雨 (1/30確率)	八尾実績Ⅲ型引き締め降雨 (1/30確率)
外水対策	【遊水地】 ①恩智川治水緑地（池島・福万寺）の取水堰の堰高を現況0P+6.85mから計画0P+6.65mに下げる。	【遊水地】 ①同左
内水対策	【貯留施設（流域調節池等）】 ②外水対策をした上で、1/30確率降雨による床上浸水を解消するのに必要である容量分の貯留施設を完成。（貯留量2,200m ³ ）	【貯留施設（流域調節池等）】 ②外水対策をした上で、1/30確率降雨による床上浸水を解消するのに必要である容量分の貯留施設を完成。（貯留量5,000m ³ ）
概算費用	1/10確率降雨→1/30確率降雨 外水対策：17百万円 内水対策：396百万円 <hr/> 413百万円	1/10確率降雨→1/30確率降雨 外水対策：17百万円 内水対策：900百万円 <hr/> 917百万円

●1/30確率降雨対策を想定した後の氾濫解析結果



	中央集中型モデル	八尾実績Ⅲ型引き縮め
浸水面積 (ha)	2,717	2,917
床上浸水面積 (ha)	0	0
床下浸水面積 (ha)	2,717	2,917
浸水量 (m ³)	1,250,350	1,646,591

●降雨波形の違いによる「効果－費用」の比較

	中央集中型モデル降雨 (1/30確率)	八尾実績Ⅲ型引き縮め降雨 (1/30確率)
効果－費用 (百万円)	9,519 効果：9,669、費用：149	13,752 効果：14,096、費用：344